

ぱるね図書館だより

No. 184
~ Since 2000 ~

発行 新潟市立白根図書館
新潟市南区田中383 電話 (025) 372-5510
shirone.cl@city.niigata.lg.jp
2015年9月発行



くらしのなかに図書館を

相続・遺言・エンディングノート について相談したい!と思ったら… 行政書士無料相談会

平成27年9月16日(水) ①午後1時~2時

②午後2時~3時

※各回1組まで

会場: 白根学習館ルーム5

対象: 新潟市に在住もしくは在勤・在学の方

申込: 白根図書館窓口か

白根図書館へ電話 (025-372-5510)



お気軽にご相談ください。

9月30日まで 白根図書館内で飲み物が飲めます!

熱中症対策及び、コミュニティオアシスの一環として白根図書館内でペットボトルなどの、ふたつきの飲み物が飲めます。図書館で残暑を乗り切ろう!



夏休みの思い出

8月の事業報告

としょかん探偵局

夏休みの宿題に役立つ本は見つかったでしょうか。7月18日から8月31日の夏休み応援週間中には136件の児童書に関する相談が寄せられました!

こわ~いおはなし大会

8月1日(土)。午前、午後と併せて67名のみなさんからご参加いただきました。

次回のおはなし大会への参加もお待ちしております!



8月25日(火)、
26日(水)

職場体験

白根高校2年生が職場体験に来てくれました。カウンター作業や本の帯作りをしてくれました。



高校生のおすすめの本、読んでみてください。



月の読書会

今月のテーマ

「ノーベル文学賞受賞

(もしくは受賞に値すると思う) 作家の本」

8月16日(日)

参加者 5名



◆『武器よさらば』◆

ヘミングウェイ/著 (光文社)

ヘミングウェイは1954年受賞。

第1次世界大戦中、アメリカ兵士が赴任先で看護婦と恋に落ちるが、戦争が二人の行く末に影を落とすという内容。

ヘミングウェイは読みやすいアメリカ文学だと思う。

◆『^{かいふく}恢復する家族』◆

大江健三郎/文 (講談社)

大江健三郎は1994年受賞。難解な大江健三郎著書の中で、1番易しいと思ったので選んだ。

人間の四苦(生老病死)の乗り越え方について大変参考になる本である。人間誰でもどん底があると思うが、いかに^{かいふく}恢復するかが大事だと思う。

◆『ノーベル文学賞 「文芸共和国」をめざして』◆

柏倉康夫/著 (吉田書店)

ノーベル文学賞創設から、選考の方法、受賞作品と経緯を知ることができる世界文学ガイド。

1968年受賞の川端康成が、受賞理由のひとつとして、各国の翻訳が良かったからだと述べている。谷崎潤一郎、三島由紀夫らの候補者に対して、なぜ選ばれたのかという理由も興味深い。1994年受賞の大江健三郎が、授賞式前に行った記念講演は、「あいまいな日本の私」というものだった。これは、川端康成の講演の「美しい日本の私」を意識したもので対比がおもしろいと思う。

◆『武器より一冊の本をください』◆

ヴィヴィアナ・マッツア/著 (金の星社)

ノーベル文学賞受賞作品ではないが、ノーベル平和賞受賞最年少者、マララさんに関連する本ということで選んだ。2012年、通学途中にタリバンから銃撃された、15歳のパキスタンの少女マララ。その後、国連本部での演説が世界中に感銘をあたえて、ノーベル平和賞受賞。彼女の日記、ドキュメンタリー、インタビューをもとに書かれた本。

◆『ドクトル・ジバゴ』◆

ボリス・パステルナーク/著 (時事通信社)

パステルナークは1958年に受賞が決定したが、前年にソビエト当局から「反革命的である」という理由で『ドクトル・ジバゴ』が発禁本となっており、賞を辞退させられている。

内容は、詩人であり医者であるジバゴの生涯を、第一次大戦、ロシア革命、スターリン時代にわたって描いた大作。映画も、映画音楽もすばらしかった。

◆『わたしの名は紅』◆

オルハン・パムク/著 (藤原書店)

オルハン・パムクは2006年受賞。

16世紀オスマン・トルコ時代のイスタンブールが舞台の細密画師をめぐるミステリー。雰囲気がある作品で、ミステリーだったので最後まで興味深く読むことができた。

次回の読書会



9月の読書会テーマ 「郷土の作家の本」

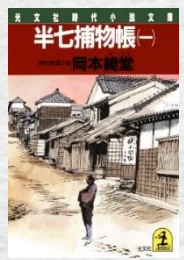
9月20日(日) 午後2時～
会場 白根学習館ルーム2

申込みはいりません。気軽に本のお話をしましょう。おいしいお茶とお菓子を
用意してお待ちしています。 しろね図書館友の会共催



読書会は好きな本を持ち寄っておしゃべりする、午後のお茶会のような集まりです。

図書館員がおすすめする
この1冊



半七捕物帳 1

岡本綺堂/著
光文社

まだ暑い日が続く 9 月に、じめじめした気分も吹き飛ばすような、痛快な小説をおすすめします。

この『半七捕物帳』は、江戸時代末期に岡っ引きとして活躍した半七老人が、若い新聞記者に昔の手柄話を語る、という形で描かれる時代推理小説です。

大正時代に書かれ、捕物帳の金字塔となった一冊ですが、今読んででも古くさはまったく感じません。江戸っ子気質の半七の人柄や、生き生きと描かれる江戸時代の情景は魅力的で、軽快な語り口は、落語の一席をみているような印象です。

「江戸を背景にしたシャーロック・ホームズ物語」とされるこの物語。ミステリー小説好きの方、時代小説好きの方、どちらにもおすすめです。 (大橋)

子どもたちといっしょに



おばあちゃんすごい!

中川ひろたか/文
村上康成/絵
童心社

「おじいちゃんはこんなことも知っているんだ！」
「おばあちゃんはこんなこともできるんだ！」
おじいちゃんおばあちゃんと一緒にいて、そんなふうには驚いたことはありませんか。

お手玉、折り紙、あやとり、コマ回しにけん玉。幼稚園に“ひろたかなり”っていう子どもを探しにきたおばあちゃんも色々な遊びが上手。さて、おばあちゃんが探している“子ども”は見つかるでしょうか。

ピーマン村の絵本は他にもシリーズがいっぱい。もうすぐ敬老の日です。おじいちゃんおばあちゃんと一緒にそちらも読んでみてください。 (三富)

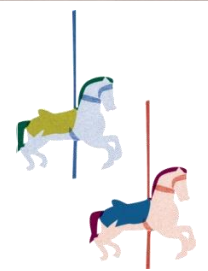
親子で楽しめるえほん

今月の展示架 9/3~10/6



「本と旅する」

今月は大型連休がありますが、もう計画は立てましたか？
「もう立てた！」という人も「まだ決めてない・・・」という人にも何か旅行の参考になるかもしれない本を集めてみました。
この機会に本(小説)の舞台に行ってみませんか？



白根図書館 10/7 までの行事

白根図書館休館日 毎週金曜日・毎月第1水曜日
9/4(金) 9/11(金) 9/18(金) 9/25(金) 10/2(金) 10/7(水)

10月のブックスタートは
1日(木)です。

おはなしかご例会
毎月第2、第4土曜日
※白根図書館で活動しているボランティアグループの勉強会です。
9/26 (ルーム4,5)午前10時～
※9/12の例会はお休みです。

おはなしのじかん
毎週土曜日
絵本のよみかたり
午後2時10分～
ストーリーテリング
午後2時30分～

読書会
(毎月第3日曜日に開催)
9/20(ルーム2) 午後2時～

8月の来館者数……14,853人

月潟図書館だより

2015年 9月

編集・発行 新潟市立月潟図書館

〒950-1304 新潟市南区月潟 1417 番地 電話：025-375-3001 FAX：025-375-1060



星空観望会



事前申込
9/8～

9月19日(土) 午後6時30分～8時
(6時15分受付)

対象： 幼児 ～ 一般(先着40名)

内容： 観察予定の説明(30分程度)、望遠鏡での観望会(60分程度)

雨天の場合は、館内でスライド上映を行います。

申込： 月潟図書館(375-3001)へ電話か窓口でお申込みください。

秋の夜空をみんなで観察しよう。月や土星をみませんか。

ご家族でご参加ください。



こわ～いおはなし大会

報告

8月7日(金)、90名の方が参加してくださいました。くら～い図書館に用意された灯籠で会場までの道案内。読み聞かせボランティアによる絵本の読みかたりのほかに手遊びや歌など、ドキドキわくわくの楽しい時間になりました。



9月のテーマ展示

「敬老の日 読書のすすめ」



読書で心も健康になりましょう。
図書館おすすめの本を読んでみませんか。
図書館では、読書を楽しみたいそんな気持ちのお手伝いをします。



月潟図書館

9

月の休館日(翌月の図書整理日まで)

休館日 毎週月曜日・毎月第一水曜

2日(水)、7日(月)、14日(月)、21日(月)、22日(火)、23日(水)
28日(月)、10月5日(月)、7日(水)

開館時間

火曜～金曜：午前10時～午後7時
土曜～日曜：午前10時～午後5時

おはなしの
じかん

◇毎月第2水曜日午後4時30分～午後5時 場所：おはなし室
◇毎週土曜日午前10時30分～午前11時 場所：視聴覚室